



第1回委員会意見について

令和4年11月9日



まち(越前市)の魅力



総社



京町



岡太神社



五箇

伝統産業(石山委員)

歴史(石山委員)

文化(原田委員、石山委員)

自然(石山委員、田中委員)

風景(原田委員、田中委員)

景観(石山委員、田中委員)

まちなみ(原田委員)

参考資料: 越前市景観計画

中心市街地

文化的、景観的に優れた場所(大塚委員)

安定した暮らし(大塚委員)

歩いていて気持ちがいい(田辺委員)

素晴らしいもの残っている(原田委員)

面影、景観保全(石山委員)

古い建物が集まっている地域

(増田委員: 五箇地区)

心配事

まちなかの空洞化

(平井委員、岩崎委員)

商店街の衰退 (大塚委員)

中心市街地の空店舗、空家 (大塚委員、原田委員)

中山間地域の高齢者、空家、耕作放棄地 (若泉委員)

宅地化

国高地区住宅や店舗が増加 (岩崎委員)

国高、家久が住宅化 (平井委員)

仕方ない

郊外の住宅増加 (大塚委員)

若い人が土地を求めて出ていく (平井委員)



中心市街地の商店街



中心市街地の空家



開発が進む吉野地区



開発が進む国高地区

必要なもの

地域の維持 (平井委員)

地域を担う人 (平井委員)

住民がまちに残る仕組み (市橋委員)

住民がまちづくりに参加する仕組み (市橋委員)

人がいなくなる原因の解消 (市橋委員)

ソフト面のプログラム (平井委員)

ハードだけでなくソフトを含めたまちづくり (岩崎委員)

→ 行政と市民と一緒に (岩崎委員)

ふるさと
集落
町内



現代都市計画の最大の課題であり、
ひいては「まちの維持」

地域の活性化 (木元委員、増田委員)

よそ者、若者、ばか者 (木元委員)

<働く場所>

伝統的なまちなみ (増田委員)



国高地区: 三世代村国山清掃

シンボル (市橋委員)

中心になるもの (市橋委員)

→ 大型商業施設というわけではない (市橋委員)

こういうまちであると言える要素 (岩崎委員)

何もない？

何もないと言われると悔しい(市橋委員)
→ 思い出になっていないのでは

第3の居場所(サードプレイス)が必要

何もないと言われるのは心外(田辺委員)
→ 良いところは沢山ある

勤務地、教育環境、福祉

福井は人工物が少ないことがすばらしい(木元委員)
→ 働きたくなる事業所が少ない

地域にとって企業、働く場所は重要
若い人が戻ってくればいろいろなことが進む



日野川河川緑地



武生中央公園



河濯線



戸谷片屋線

整備したもののPRが必要(谷口委員)

都市と自然のバランスがよいまち

里地・里山



白山地区:コウノトリ

やまなみ

中山間地



岡本地区:国道417号より臨む

郊外部

農地



北日野地区:農地

近郊部

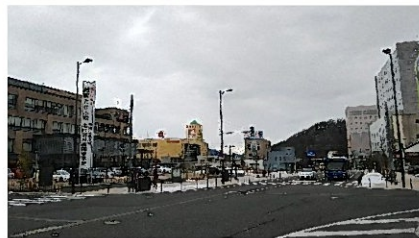


吉野地区:近年開発された住宅地



国高地区:戸谷片屋線沿い

中心部



東地区:本庁舎周辺

まちなみ

越前市を象徴する場所

日野川河川緑地



村国山展望台から臨む

土木技術の結晶である橋梁

都市を象徴する橋梁

最も美しい橋梁の形の一つである斜張橋



村国山

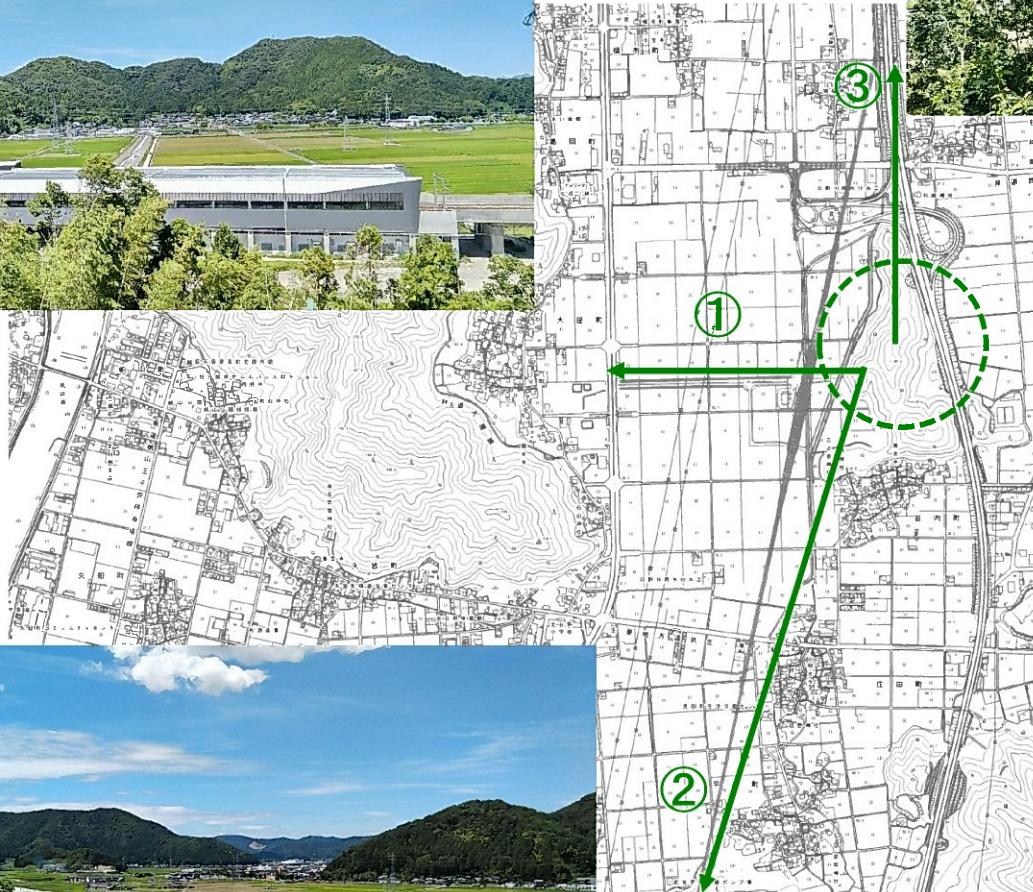
自然を象徴する山と川

川辺で遊ぶ子ども達

日野川

越前市の都市と自然のバランスを端的に表現し、
子ども達の心の原風景になる場所

広域交通拠点のシンボルになり得るか？ 岩内山視点場



越前市新幹線駅周辺まちづくりガイドラインより

※登る際には虫よけ対策をお勧めします

生活がしやすいまち

まちを構成する

都市施設

都市計画法第11条

道路・鉄道・駐車場
公園・緑地・広場
水道・電気供給施設・下水道
河川・運河
学校・図書館
病院・保育所
.....

都市機能増進施設

都市再生特別措置法第82条

医療施設
福祉施設
商業施設
.....

生活に必要な都市施設、都市機能増進施設が充足

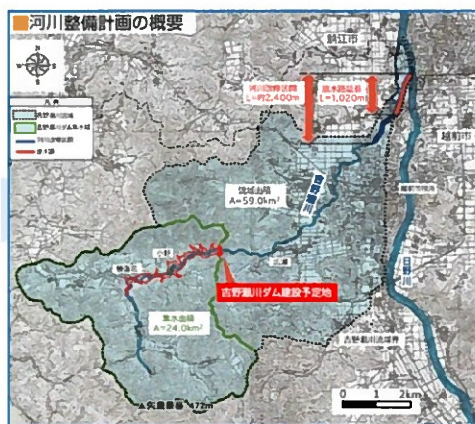
進行中の公共事業



北陸新幹線越前たけふ駅

契機(市橋委員)
期待(田中委員)
開発を急がない(原田委員) →
武生駅との二次交通(石山委員)

美しい田園風景
大阪延伸
将来の世代
その時の社会情勢
選択肢を残す



吉野瀬川ダム建設事務所HPより

吉野瀬川ダム

市街地に近い(増田委員) → 親水エリアの可能性(増田委員)
ダムを活かしたまちづくりの可能性(岩崎委員)
防災最優先(木元委員) → 生物学的には影響(木元委員)



国土交通省近畿地方整備局
福井河川国道事務所HPより

国道417号

岐阜、中京方面(若泉委員)
期待(田中委員)
→ 隣接市町からの動線を計画に(田中委員)

都市計画マスタープラン

方向性(戦略)を定める必要がある(増田委員)

コンパクトシティとは(大塚委員) → [協議事項\(1\)で説明](#)

いいまちとは何か(谷口委員) → 全てを求めるのは無理ではないか(谷口委員)

(抽象的ではあるが)

住んでいて幸せに感じる事が一番いい(谷口委員)

▶ 目指すべき方向性はこれでいいのではないか

(下川委員長)

幸せなまち = 安全で安心して暮らしていける

都市の骨格、土台

安定した職場

都市計画マスタープラン

長期にわたる都市の方針を定める重要な計画

安全、安心の実現

今まであったものを引き継ぐ

新しいものを挿入

これからの充実した暮らし

目指すべき方向性

住んでいて幸せ(谷口委員)

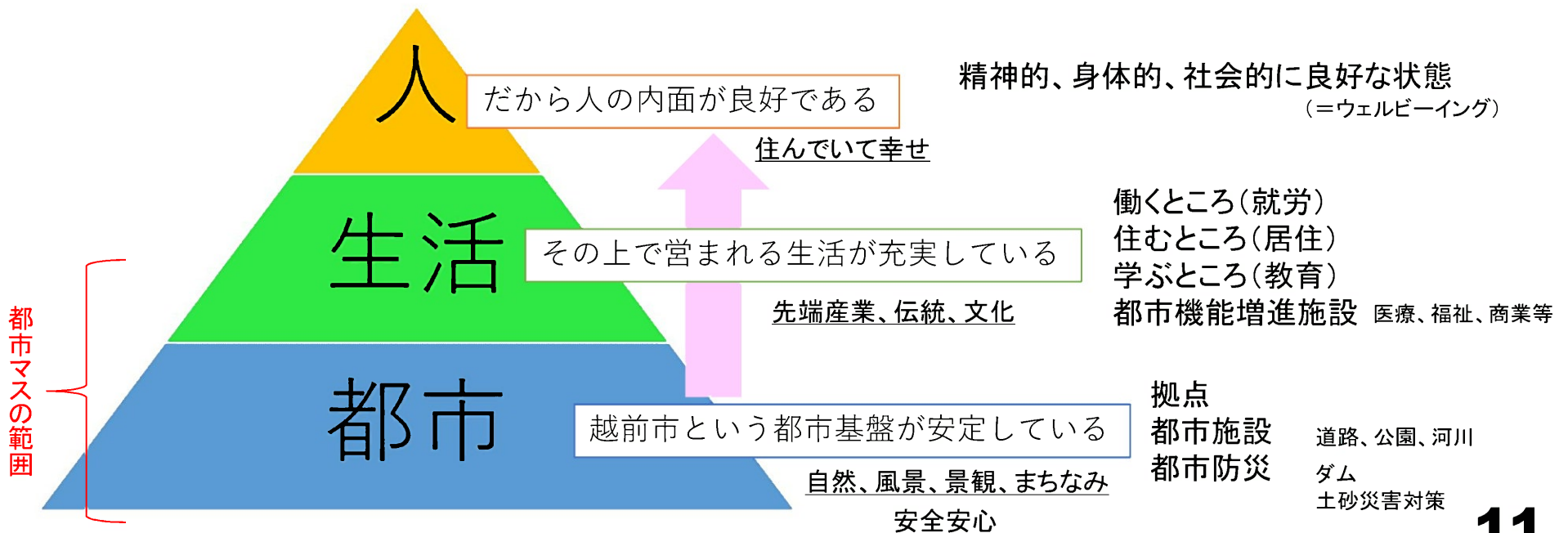
安全で安心して暮らしていける(下川委員長)

地域の維持(平井委員)



住み続けられるまち越前

ここでこれからも生活していこうと思える幸せなまち



拠点

(本庁舎周辺の)

越前市の中心は中心市街地(原田委員)

(あいぱーく今立周辺の)

地域拠点は(旧)今立町の中心(下川委員長)

役所周辺が拠点なのか(岩崎委員)

行政機能が集積しているからではなく歴史的に見て間違いはない(下川委員長)

越前たけふ駅

拠点として理解できる(岩崎委員)

中心市街地とは役割分担(原田委員) → 交通面での中心(原田委員)

越前市は合併により2つの拠点を持っており、そこにもう1つ

広域交通拠点が越前たけふ駅周辺にできる(下川委員長)

3つの拠点をどう結ぶか(下川委員長)

拠点の位置付け

重点検討項目 1(1)(2)(3)

地域拠点
= 旧今立町の中心

あいぱーく今立周辺
立地適正化計画において
都市機能誘導区域に指定

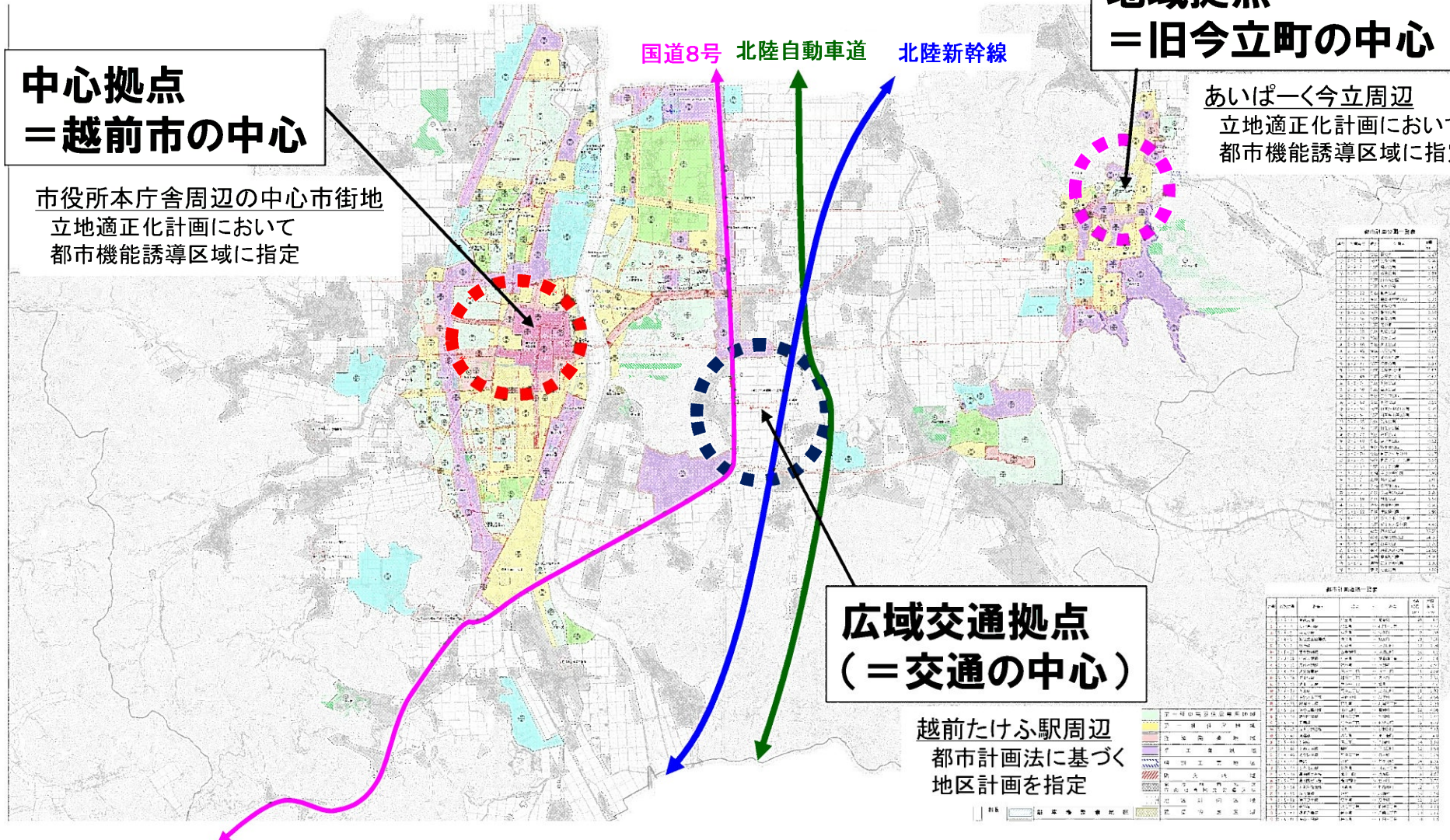
中心拠点
= 越前市の中心

市役所本庁舎周辺の中心市街地
立地適正化計画において
都市機能誘導区域に指定

広域交通拠点
(= 交通の中心)

越前たけふ駅周辺
都市計画法に基づく
地区計画を指定

国道8号 北陸自動車道 北陸新幹線



重点検討項目 1(4)

三拠点の関係性整理

→ 協議事項(2)